

## 秋田工業 高等学校 中期ビジョン (五カ年計画)

### 本校が目指す5年後の姿(具体的な目標)

#### ① 学校の現状や課題

- ・ 生徒は元気に挨拶ができ、服装の整齊に気を配っている。
- ・ 自宅学習の習慣が定着していない者が多く、目的を持って自学自習に取り組めるよう指導したい。
- ・ 資格取得に対する意識を高め、全校が足並みをそろえて対応できるような体制づくりが必要である。
- ・ 部活動では指導者に恵まれ、全国大会をめざして熱心に練習に取り組んでいる部が多く、本校の活力となっている。

#### ② 学校を取り巻く将来の状況の予測

- ・ 少子化がいつそう進むなかで入学者が減少していく可能性が高い。本校独自の魅力をあらゆる手段を使って、あらゆる機会を捉えて適切に外部に発信する必要がある。
- ・ 地元秋田に根ざす工業高校ではあるが、県内に就職を希望する者の受け皿が少なくなった場合優れた技術や技能を持ち、バランスのとれた感覚を有する貴重な人材が更に多く県外に流出してしまう可能性が高い。
- ・ 高齢化が深刻になるため、福祉関係の施設と連携して本校の各科でも福祉や介護の現場で必要とされる器具の開発や設計に協力できる場面も考えられる。特別支援学校の交流以外でも外部とのつながりの中から工業高校としての存在感を示す機会を見いだしたい。

#### ③ 目指す方向性や学校像

- ・ 心身ともに健全で豊かな人間性を持ち、社会の進展に柔軟に対応できる人材の育成
- ・ 真理を追究し、専門の基礎的技術・技術を養い、実践と創造を重んずる人材の育成
- ・ 地域社会の期待に応え、生きる力を身につけ職業人として自立できる人材の育成

#### ④ 5年間を通しての具体的目標

- ・ 生徒自ら学ぶ力を育成し、学力の向上を図る。
- ・ ものづくり活動と資格取得を推進する。
- ・ 専門の技能・技術を生かした進路実現をするためのキャリア教育を推進する。
- ・ 基本的な生活習慣を確立し、豊かな心を育む。
- ・ 部活動の充実と発展を図る。
- ・ 就職する者も進学する者も将来は海外で活躍できる素養を育てる。

## 具体的な取り組み等

### 「保護者地域との連携を強化して開かれた学校をつくる！」

- ・PTAの開催日時を土・日等にして保護者が参加しやすい環境作り
- ・金砂神社清掃及び金砂町内の除雪ボランティアの実施
- ・地域に開かれたものづくりの場の提供(地域企業との連携):親子ものづくり教室等

### 「個々に応じたきめ細かな教科指導により学力向上を目指す！」

- ・朝学習、放課後の補習に加え、朝、昼補習の実施。
- ・毎土曜日の午後1時～4時までの資格取得等の補習(ライセンスチャレンジクラブ)の実施
- ・生徒全員にTOEIC-Bridgeを受験させる。

### 「就職・進学ともに100%を目指す！」

- ・キャリア教育を推進させ、生徒一人一人が職業人として自立していくための能力や態度を育成
- ・公務員希望の生徒をさらに丁寧に指導し、就職・進学ともに100%達成を目指す。

### 「家庭や地域の協力を得て行う生徒指導」

- ・生徒指導は進路指導、進路指導は生徒指導との共通認識を持ち、家庭や地域の協力を得て、学年及び科の連携を強化し学校全体で指導を行う。

### 「重点的に取り組む教育活動」

#### 1) ものづくり教育の推進

- 基本的技能・技術の習得:高校生ものづくりコンテスト秋田県大会で上位入賞を目指す。
- 高度な資格の取得:2級技能士、2級施工管理技師、第1種電気工事士、甲種危険物取扱
- 学科の枠を越えた創造的なものづくりを実践する→「ものづくり工房」を設置
- 他の専門高校(商業・農業)との連携→製品開発やマーケティングの実習。
- 農業高校の協力を得て行う「実験的農作物生産プラント」の構築

#### 2) 職業教育の拠点校としてセンタースクール機能の充実

- 地域ネットワークの拡大
  - ・地域企業とのネットワークを行政、高等教育機関、地域内高校を含めた地域人材ネットワークづくりを拡大させ連携を深める。
- ネットワークを活用した事業の展開
  - ・高度熟練技能者等の外部講師による出前授業、出前実習の実施。
  - ・大学や県の研究機関の最新設備を活用した実習の実施

#### 3) 新エネルギー教育及び環境教育の推進

- 電気科を電気・エネルギー科に改編
  - ・環境、エネルギーに関する学校設定科目の履修
  - ・環境教育設備を積極的に取り入れた、教育活動の実践
- 校舎を実験装置とした新エネルギー教育の実践
  - ・太陽光発電装置、風力発電装置、地中熱を利用した冷暖房装置など、CO<sub>2</sub>排出削減のための新エネルギー活用システムによる実験・実習の実施
- エネルギーや資源の有効活用などを意識した環境教育の実践
  - ・3R(廃棄物の減量化、再使用、再資源化)など環境に配慮したものづくりの実践
  - ・学習指導計画に基づいた学習(授業、実験・実習)の実施

#### 4) キャリア教育の推進

- 長期インターンシップを実施する。
  - 職業意識や職業選択能力を培うため地域企業ネットワークを活用する。
- 各学科の専門性と、ガイダンスの一層の充実を図る。
  - 将来の職業を結びつけ、自己の能力、適性により主体的に進路選択をするため
- 実習を通して、将来、専門的職業人として活躍できる資質・能力の向上を目指す。
- 工業系大学、特に国公立大学進学希望者への支援の充実(チューター制を導入)
- 取得資格や学習成果を活用した地域貢献の実施(技術ボランティアの実施等)

#### 5) 企業活動のグローバル化に対応した教育の充実

- 国際的感覚をもった人材の育成(留学生の受け入れ、海外修学旅行等)
- 海外で活躍できるコミュニケーション能力や適応力の育成(工業科の授業に英語を取り入れる)